

日本画

| | | | |
|------|-----|-----------|-----|
| 応募点数 | 38点 | 招待作品 | 10点 |
| 入賞点数 | 7点 | 展示点数 | 48点 |
| 入選点数 | 31点 | ◎は移動展出品作品 | |

(総評) 今年の県展は、コロナ禍に加え、例年と異なる会期、会場での開催となり、若干の戸惑いを感じられたことと杞憂しました。

日本画部門においては、前年度より出品数はやや減りましたが、新人2名を含む、一般28点、会員10点、招待10点と出品して頂き、お一人、お一人の気合いに満ちた作品と対峙することができました。

入賞作品の選考にあたっては、10名の審査員が繰り返し、真摯に取り組ませて頂きました。懸命に描かれた作品を審査する重責に、いつも緊張感が走ります。

今年の入賞作品の共通点は、技術だけに留まらず、作者の感動が込められているか否かにあると感じました。小手先の技術に過剰に終始し過ぎず、感動を大切に素直に表現することが重要だと改めて気づかされました。たとえ技術的に稚拙であっても、表出された強い思いは観る側に深く伝わるものです。又、これこそが作品の生命線であり、空気感に通じる必須条件だと思います。無感動、無表情の作品になってしまわないよう心がけましょう。

そして、来年は更に、表情豊かな作品で溢れる日本画の会場となることを期待しています。また、岩絵の具の美しさに魅了され、一人でも多くの方に、日本画への関心を深めて頂ければ嬉しく思います。

(文責 吉岡 珠恵)

知事賞 ◎

ばんか
晩夏

いなむらまさし
稲村正志 (出雲市)

ヒマワリの花がダイナミックに配され、構成構図に目を引かれます。夏が過ぎ大輪のひまわりの生命の儚さと、今を盛りの赤トンボが優れた観察力で描写されています。透明感のある軽やかな色彩とタッチで描かれています。赤トンボとヒマワリが無言の対話をしているように感じ、またトンボの赤が画面をひきしめるアクセントになっています。自然の生命力を余すことなく表現された作品が成功要因となりました。

(文責 福間小夜子)

金賞 ◎

はなま
花舞う

ささきつとむ
佐々木勉 (松江市)

作者は、県展初出品以来、六回連続しての高位受賞であります。

本作は、一昨年知事賞受賞作と同じ、牡丹をテーマにし、会場芸術の基本である、主題(牡丹)を大きく、力強く描き、画面に大きな流れを感じさせる秀作です。実際の草花の色にはこだわらず、作者の感じるままの自由な発想で、のびのびと描いてあ

ります。またマチエールの変化に気をくばり、モミ紙に墨彩を生かした表現が高く評価されました。

今後の発展を祈ります。

(文責 大森 幹雄)

銀 賞 ③

いの 祈り

の っ けい こ
野 津 恵 子 (松江市)

若いお母さんが、赤ちゃんをしっかり、胸に抱えています。いとおしく、健やかに、祈りをこめて、その暖かさが伝わってきます。バックの薄い緑、花々の緑、お母さんの上衣の緑は、同じような緑でも、それぞれに雰囲気呈しているのは、すばらしい技巧だなあと感心致しました。

これからも、情感あふれる作品を、お待ちしております。

(文責 村上ななほ)

銀 賞 ③

な っ か す み 夏霞たなびく

ち はら ゆう こ
千 原 優 子 (奥出雲町)

日本画の表現は色々あります。例えば「鯉の滝登り」の様に岩から落ちる上部の水を描き中間を描かないで下の鯉を描く。中間部分を描かないことで観る人の想像力にまかせるような表現があります。

この絵には同じように夏霞を観る人の感性にまかせているところがあります。

技術的にはしっかりした写生の上から絵具をかけ、薄塗りながら深味のある作品に仕上げたところが評価されました。近くへ寄ってじっくりその表現を観ていただきたいと思います。

(文責 小村 俊美)

銅 賞 ③

みどり かぜ 緑の風に

いの う え さくら こ
井 上 櫻 子 (松江市)

初々しい少女の姿が緑の風の中に向って歩んでいる情景が浮びます。

少女の髪の流れ、草花のゆらぎで風を感じ、全体を柔らかな緑色の微妙な色合いで、まとめ効果的に描かれ表現されています。

(文責 米原ひろこ)

銅 賞 ③

ざんしゅう 残秋

おん だ ゆき こ
恩 田 ゆき子 (奥出雲町)

秋の終わりの頃の日ざしより、まぶしく光る暖かい日ざしの下に咲いているあじさいの花を感じることが出来ます。冷えた秋の日に残る花の儂さよりも、枯れ花に美を感じた作者の思いが見られます。やさしさの中に強さと再生の影を感じます。淡い色調の中に、枯れ葉と花の色のバランスが品よく仕上がっています。

(文責 東野布由美)

銅 賞 ④

おのれ
己ばえ

佐 藤 さゆみ (出雲市)

複雑にからみあうひとかたまりの朝顔がうまく整理されている。からみつく対象を求めてのたうつ蔓が緊張感のある表現になっている。正面向きの花の色と形に、もう一段の鋭さが欲しい。葉も、緑だけでなく、異なる色味を入れて平板さを破りたい。背景に様々の工夫がされているが、四隅がみな異なるので、多少の整理・統合を要す。

(文責 三島 京子)

入 選

| | 題 名 | 氏 名 | 備 考 |
|---|-------------|----------------|---------|
| | そろって病院帰り | 原 真由美 (出雲市) | |
| | 奥入瀬溪流 | 飯 塚 眞 治 (出雲市) | 奨励賞 |
| ④ | しゃぼん玉 | 小 川 明 夫 (浜田市) | |
| | 若葉のころ | 北 脇 豊 史 (出雲市) | |
| | 残照 | 引 野 春 雄 (出雲市) | 協会賞 |
| | 冬の灯り | 勝 部 珠 實 (出雲市) | |
| | manjusaka | 伊 藤 明 徳 (出雲市) | |
| | 秋果 | 有 田 秀 子 (出雲市) | |
| | 青麦の精 | 宇田川 京 子 (奥出雲町) | |
| | 蛍ぶくろ | 塚 本 治 代 (奥出雲町) | |
| | 幸せの刻 | 目 黒 誠津子 (奥出雲町) | |
| | 雨あがり | 荒 川 浩 子 (松江市) | |
| | むくの樹 | 荒 川 ゆかり (安来市) | |
| | 夏の朝 | 阿 部 明 美 (松江市) | |
| | 夏至祭の日 (ロシア) | 杉 原 瑩 子 (松江市) | |
| | 豊漁へ | 鹿 田 純 子 (松江市) | 奨励賞 |
| | 秋宵 | 榊 原 真 (松江市) | |
| ④ | 断魚溪の滝 | 狭 間 壽 幸 (浜田市) | |
| ④ | 山霧 | 斎 藤 理恵子 (益田市) | 新人賞 |
| ④ | 五月の響宴 | 村 岡 万 子 (山口県) | |
| | 枯葦 | 原 邦 子 (出雲市) | |
| | 芋掘り | 舟 木 美代子 (松江市) | |
| | 5月23日の帰り路 | 伊 藤 圭 子 (出雲市) | |
| | 静かな時 | 松 下 純 子 (出雲市) | |
| ④ | 御神鶏 | 福 間 美智子 (出雲市) | 協会会員賞 |
| ④ | あおによし | 渡 麻 矢 (大田市) | |
| | 二月 | 清 原 茂 治 (松江市) | |
| | 上弦の月 | 内 藤 章 江 (松江市) | |
| | 晩夏 | 松 原 安 杏 (松江市) | 協会会員奨励賞 |
| | 青い傘 | 森 脇 純 子 (出雲市) | |
| | 星に願いを | 黒 田 育 子 (出雲市) | 無鑑査 |

招待

| | 題名 | 氏名 | 備考 |
|---|------------|------------|-----|
| ㊦ | 通り雨 | 吉岡珠恵(松江市) | 審査員 |
| ㊦ | 光の先へ(奥出雲路) | 小村俊美(出雲市) | 審査員 |
| | 冬ざれの途 | 福間小夜子(出雲市) | 審査員 |
| | 女 | 三島京子(松江市) | 審査員 |
| | 花宿 | 米原ひろこ(出雲市) | 審査員 |
| | 白露 | 広田あつ子(安来市) | 審査員 |
| | 晩秋 | 大森幹雄(出雲市) | 審査員 |
| | 新雪 | 村上ななほ(松江市) | 審査員 |
| | 光陰 | 東野布由美(出雲市) | 審査員 |
| | 散華 | 安部富男(松江市) | |